

【熊本市】平成28年熊本地震による下水道施設被害と復旧状況について

(H28.6.17 17:00時点)

(1) 下水管

- ・調査が必要と判断された下水管（延長約1,700km）について、概略点検を実施し、4月28日までに終了。概略点検では、85,923箇所のマンホールを開けて流下機能を確認。流下機能確保済。
- ・概略点検により、詳細調査が必要と判断された約114kmの調査を実施し、6月14日までに終了。被災延長は約53km。

(2) 下水処理場

- ・市内の5処理場で地震による被害を受けたが、いずれも軽微な被害であり、処理機能は確保されている。現在通常運転中。

熊本市下水道整備区域図



不具合箇所の応急対応(写真①)
(下水管周辺の道路陥没舗装を仮復旧)



下水管の概略点検実施状況(写真②)
(マンホールを開放して目視調査)
※マンホール内にズレは生じているが流下機能は確保



下水管の詳細点検実施状況
(テレビカメラによる下水管内部の調査)

